



俳句

横山容子 選

落葉踏む音のメロディ四分音符

大森妙子

雲一つなく風の肌を刺す

十河多美子

首里城を旅せし孫の夏帽子

松木康子

秋風に揺るる吊橋足竦む

青野洋子

長靴をはいて園児ら甘藷掘る

加藤泰江

晴れやかに胸のコサージュ文化の日

森 隆子

独り踏む落葉の音に山歩く

橋本克彦

人住まぬ山峡の家冬ざる

渡部喜生

川柳

藤原真佐 美 選

口喧嘩できる幸せ妻がいる

今井嘉太郎

孫の息子と思う声変り

桑原冴子

引き止めて話が弾む老いの母

高塚啓子

もう少し誰かに背中押されたい

川又美佐子

お寒い熱燗ワインどれにしよう

近藤美鶴

遠い日の亡夫の声して秋祭

三谷福美

カニを買い年に一度の贅沢を

今井マサコ

七五三子よりも母の髪飾り

三好清信

短歌

藤田虎雄 選

保津川に浴いて通いし夫の故郷 今は錦に染

まる山々

坂根祐子

すみきつた天にそびえる石鎚山をわが故郷の

宝と思ひし

森 隆子

おもてなし心に届く応援もスポーツの技も輝

いている

三好清信

賽銭の音のかそけし山寺に願掛けし日も遠く

なりけり

森田 薫

人生の山坂多い母の道 娘も忘れ白寿も近し

父母を看取り友に誘われ趣味の会 今人生が

はじけたのかも

藤原温子

デイサーブスイと楽しく嬉しくて大笑いし

てはしやぐ一時

日野菊枝

欲深き胸こそ人の性なれば深きに落ちぬ程を

忘れじ

越智敏美

今井嘉太郎

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。  
※掲載作品は選者により添削される場合があります。

応募先

〒793-8601

明屋敷164 西条市役所

シテイプロモーション推進課 広報係

TEL 0897-52-11204 (直通)

ふるさと産品通信



飲む点滴 甘酒

問合せ

市庁舎新館2階 産品価値創造課 TEL0897-52-1380

甘酒は飲む点滴ともいわれ、改めて見直されている日本古来の発酵飲料です。寒いこの時期、温まりたいときなどに飲む方も多いと思いますが、甘酒には2種類あることをご存じでしょうか。

甘酒は、酒かすを使うものと、こうじを使うものがあります。酒かすの甘酒は、甘みが少ないので砂糖などを加えて飲むことが多く、アルコール分を含んでいます。こうじの甘酒は、こうじによる発酵でお米のデンプンをブドウ糖に糖化させて作るので甘みがあり、アルコール分は含んでいません。

俳句の世界では、甘酒は意外にも夏の季語ですが、万葉集にもうたわれていて、古くは冬の季語とされてきました。それが江戸時代になると「一夜酒」と呼ばれ、夏の栄養補給源として人気を博し、夏の風物詩となったことから、夏の季語となりました。

家庭でも手軽に作る事ができる酒かすの甘酒に比べ、手間のかかるこうじの甘酒は、市内でもいくつかの業者が、こだわりを持って製造・販売しています。もちろんどれも西条のおいしい水が使われており、自然栽培米を用いたものや、米の代わりにもち米を用いた食べるタイプのもの、レトロな風合いの小瓶に入ったものなど、それぞれに特徴があります。

ぜひ皆さんもお気に入りの甘酒を見つけてみませんか。

